

令和4年度 調布市立第四中学校 学校経営計画 (学校長 生野 まゆみ)

学校の教育目標	
心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
・生命をいつくしみ, 人の尊厳を重んじる心を育てる学校 ・「生きる力」を育て, 個を伸ばす学校 ・安全で安心な学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	現状 前年度, 5つの中期的な経営目標に関する評価については, 生徒・保護者・教員を対象に質問項目を合わせたアンケートを実施した。さらに, 教員対象に行った別の評価を合わせて分析したところ, ①から⑤のすべてにおいて肯定的な回答が78%以上だったので, おおむね目標が達成できた。 課題 保護者・地域とのニューノーマルな連携
中期的な経営目標	
<p>① 豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める</p> <p>② 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために, 主体的・対話的で深い学びを実現させる</p> <p>③ 食育の推進に関する指導・安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導を充実させる</p> <p>④ 社会に開かれた教育課程の実現を目指し, 保護者・地域と連携して, 教育活動の充実に努める</p> <p>⑤ 社会の一員として活躍する生徒の育成を目指し, 「ボランティアマインド」「障害者理解」「豊かな国際感覚」を育成する</p>	
369人・11組	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
① 豊かな心 (徳)	② 確かな学力 (知)	③ 健やかな体 (体)
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)
①道徳教育を充実させ, 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。	① 各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる過程を重視し, 主体的な学びを促す学習活動充実を図る。	①食育並びに安全に関する指導(新型コロナウイルス感染症拡大防止等)を推進する。
②体験活動をとって, 見聞を広め, 自然や文化に親しませる。	②1人1台のタブレット端末を効果的に活用し情報活用能力の育成を図る。	②心の健康を保持するために, 個に応じたきめ細かな教育相談の充実。
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)
①ふれあい月間(3回), いのちと心の教育月間(1回), 道徳授業地区公開講座(1回)では, 全校体制で取組を工夫する。	①調布市教育推進校として「主体的な学習を促す学習活動の工夫」を研究主題とした校内研修を年間5回, 研究授業を年間3回行う。	①給食委員会・放送委員会を中心に, 生徒の主体的な取組を推進する。(毎週)
②移動教室(1学年3日間), 職場体験(2学年5日間), 修学旅行(3学年3日間)の体験活動を通して見聞を広め, 自然や文化に親しむ。	①ICT推進教師を中心に活用を推進する。全教員がICTを活用した授業を実施する。(各学期10回以上)	②特別支援コーディネーターを中心とした校内委員会(週1回)で, 多様な教育相談の対応を構築する。
教育活動アンケートの関連項目の肯定的回答が80%以上。	教育活動アンケートの関連項目の肯定的回答が80%。	教育活動アンケートの関連項目の肯定的回答が80%。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
④ 保護者・地域との連携	⑤ 社会の一員として活躍する生徒	
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	
学校の教育活動を広く発信する。地域学校協働本部を中心に保護者・地域と連携した体験活動を実施する。	社会的, 職業的自立に向けたキャリア教育として, 「主体的な進路の選択, 将来設計」について指導する。	
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	
学校だより(月1回以上発行), HP(月5回以上更新)等の活用・総合的な学習の時間「ボランティアマインド(地域清掃)」等で保護者・地域との連携を図る体験活動を実施する。(1回以上)	活動を記録し蓄積する教材としてキャリアパスポートを作成する。(年間5回以上記入)	

人材育成・組織運営
<p>【人材育成】複雑化・多様化する学校を取り巻く課題に対し, ニューノーマルな対応が組織的にできるよう教員ひとり一人のスキルアップを図る。個々の教員のキャリアに応じた育成を意図的に行う。</p> <p>【組織運営】学校が地域と共に連携・協働しながら, 一つのチームとして機能するように, 学校のリーダーシップ機能や学校の企画・調整機能, 事務体制を強化するとともに, 学校に関わる全ての職員がチームの一員であるという意識を共有する。</p>